

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No309号 2012.08.16
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

国家ぐるみの不当解雇事件 社会的に決して許されるものではない!!

～8/8本社前要請行動・要請書より



新しい横断幕をつけた街宣車から本社前で訴える原告ら

記録的な暑さの続く8月。
暑さ対策を万全に、
大きな支援の輪を
さらに広げます。
9月には全国
キャラバンも
頑張ります!



8月7日 裁判所前 東京争議団宣伝行動

立秋とはいえ風もなく、じっとしているだけで汗が滴り落ちる朝8時から9時半まで、裁判所前で東京争議団に集う仲間たち43名が参加して宣伝行動をおこないました。9種類のビラを1,000枚配布しましたが、暑い中でも職場に向かうたくさんの方々がビラを受け取って下さいました。

8月7日 JALプラザ前 宣伝行動



裁判所から場所を移動し、1時間ほど通常より開始時刻を早め10時半から11時半まで、JALプラザ前にて日東整争議団とともに宣伝行動を行いました。36名が参加し300枚のビラを配布し、支援を訴えました。署名をして下さった方は「JALの本社近くに住んでいるので、毎月皆さんの訴えは聴いていますよ」とエールを下さいました。上の写真はJALプラザ前での宣伝の様子と全員集合写真です。

8月8日 本社前宣伝・要請行動

薄暮の中で始まった本社前行動は、90名もの方々が参加して下さいました。弁士の方々の力強い訴えに、本社玄関でのバス待ちの人から「そうだ！」と声があがる場面もあり励まされました。



165名の人生を奪い、心が痛まないのか！

働く者の立場の意見に経営は真摯に耳を傾け、そのことこそが会社を発展させる近道と気付くべきである。勝つまで闘います！

～支援共闘共同代表

糸谷全国港湾委員長～

司法・政府一体の国策、組合つぶしの解雇！

適正な労働条件があつてこそ安全は確保される。LCCにいのちの保障はないのと同じ。安全運航のためには適正な運賃が必要であるとJALは率先して示すべきです。

～全日建連帯労組 中塚委員長～

憲法で保障された根本の権利！

人件費を削減することがなぜいけないのかを考える社会ではなくなってしまった。働くことは生きることそのもの。一番大切なことを踏みにじる解雇を許すことはできません。

～小林弁護士～

ILOの勧告を守れ！



歴史を深く受け止め学んでほしい

来日したオリバー・ストーン監督の言葉を歴史に謙虚に向き合おうとしない日本の首相に見習ってほしい。社長・会長がJALの歴史に真摯に向き合い、誤りを認め不当解雇を反省し撤回した、昨晚見た夢が正夢になるよう奮闘します！

～東京国公 植松事務局長

賃下げ違憲訴訟とともにILO提訴を行います！

8月19日(月)11:30～いよいよ全厚生闘争団11名の判定が出ます。秋には全員の判定が出ることと思いますが、勝ち負けではなく、はたらく者が安心して働ける社会をつくりたい。そのためにも職場復帰をめざして闘います。

～全厚生闘争団 國枝事務局次長～

安全のためには経験こそ必要！

85名を解雇しながら1,000人以上の新人の採用で訓練所は満杯状態。即席で現場に出され一機の編成の半数近くが経験の少ない乗務員のことも。指導の限界も超えています。不当解雇を撤回させ職場復帰できるまで闘います。

～CCU 宮井執行委員～

組合敵視を改めるべき！

最近ATB(離陸後の引き返し)が続いています。自主退職も止まらず、「安全の提言」も守られていない状況の中、利益優先政策により連続事故を引き起こした当時の状況に戻っていると危惧しています。安全を守るために、この闘いへのご支援をお願いします。

～JLU 諏訪書記長～

人のいのちと儲けを天秤にかけないで！

9/12証人として立ちます。28年前も142億の儲けを何としても！と整備の外注化など利益優先の中であの悲惨な事故を起こしました。航空産業として健全な発展を果たさせるために、これからも正面から訴え続けます。

～客乗原告・CCU 小栗副委員長～